

THE SHAKAI SHIMPO

社会新報

発行所 社会民主党全国連合機関紙宣伝局 週刊(水曜日発行)
〒104-0043 東京都中央区湊3-18-17 マルキ複本ビル 5F 電話代表03(3653)3731

2021年春季 政策号外

75歳以上の医療費 2倍負担にストップを！

■高齢者のいのちを守ろう！

75歳以上の高齢者を対象に病院などの窓口で支払う医療費の負担を1割から2割に引き上げる健康保険法等の改悪案が、5月7日の衆議院厚生委員会で強行採決され、自民党、公明党、日本維新の会、国民民主党の賛成多数で可決されました。社民党議員は反対しました。



■受診控えて重症化のおそれ

法案は、単身者では年収200万円以上(年金含む)、夫婦世帯では合計年収320万円以上の約370万人(75歳以上の高齢者は1815万人)が医療費負担引き上げの対象者として見込まれています。

衆議院審議では、「負担が2倍に増えれば受診を控える高齢者が増える」「早期治療が遅れ重症化するおそれがある」「かえって医療費がかさむ」として、野党が詳細な調査を求めました。しかし政府の回答がないまま、与党が採決を押し切りました。

「直ちに健康に影響ない」!?

■「直ちに健康に影響ない」!?

政府は、2割負担の導入で受診日数が減り、75歳以上の医療費が年約900億円減少すると試算をしています。また菅義偉総理は「直ちに患者の健康への影響を意味するものではない」(5月8日衆議院本会議)と無責任な答弁

をしています。

深刻なコロナ危機にあるにもかかわらず、政府は国民の健康を守るどころか、高齢者の負担を2倍にして公的医療費を削減しようとしているのです。また、この改悪をきっかけに高齢者の負担を増やす方向をさらに強めることが予想されます。

■全世代の力で法案を廃案へ

法案提出の理由は「世代間の公平性を図る」「現役世代の負担軽減」とされていますが、主眼は公費と事業主負担の軽減です。現役世代と高齢者の対立をあおり、高齢者を「お荷物扱い」して、社会保障費全体の縮小を目論む改悪を許してはなりません。全世代の力を結集し、法案を廃案に追い込みましょう。

**「がんばれ社民党」
カンパのお願い**

郵便振替 00130-9-463037
口座名「がんばれ社民党」
<http://www5.sdp.or.jp>